

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

海辺の体験活動が参加者の海洋リテラシーに及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 蓬郷, 尚代 メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/1099

「課程博士」（博士論文審査及び最終試験の結果要旨）

学生氏名：蓬郷尚代

博士論文題目：海辺の体験活動が参加者の海洋リテラシーに及ぼす影響

博士論文審査：

学生から提出された博士論文について、公開発表会が2月3日に行われ、審査委員と学生の間で質疑応答が繰り返しなされ、質疑への応答は十分であると判断できるものであった。

本研究は、今後の海洋リテラシー研究の基盤づくりを行うことを目的として、海辺の体験活動が参加者の海洋リテラシーに及ぼす影響について考察することであった。そのため本研究は、1)大学生を対象として海洋リテラシー調査票を用い、集中授業前後での海洋リテラシーの変容を検討するとともに、2)小学校高学年から中学生を対象とした「子ども版海洋リテラシー調査票 for 10-15 years old children」を開発した後に事例的な検証を実施し、さらに小学校低学年を対象とした「子ども版海洋リテラシー調査票 for 1-3 grade」を開発した。

大学生を対象とした集中授業前後での海洋リテラシーの変容の検討においては、「海洋リテラシー調査票」を用いて、海洋実習前後で質問紙調査を実施し、実施種目の違いによって参加者の海洋リテラシーに与える影響が異なることを示した。

次に、海洋リテラシー調査票を修正することによって、小学校高学年から中学生が理解可能な質問紙「子ども版海洋リテラシー調査票 for 10-15 years old children」を作成した。調査票の信頼性の推定を行ったところ、本調査票の信頼性が非常に高いことを示唆した。加えて、この調査票を用いて活動期間の異なる海辺の自然体験活動が参加者の海洋リテラシーに及ぼす影響を検討した結果、活動期間が長い実習ではより多くの海洋リテラシー下位尺度を向上させることを示した。

小学校低学年を対象とした「子ども版海洋リテラシー調査票 for 1-3 grade」の開発では、「子ども版海洋リテラシー調査票 for 10-15 years old children」をもとに、小学校低学年の児童に適応させるために20項目に質問項目を減少させた質問紙を作成した。作成した海洋リテラシー調査票の信頼性の推定を行い、調査票の信頼性は非常に高いことを明らかにした。

本研究の成果により、小学生以上のすべての児童生徒を対象に児童の理解力などに合わせて質問紙を選択し調査を行うことが可能となった。これらの成果は、これまでに研究が実施されていない海洋リテラシーを実証的に分析した点および新たに質問紙を開発して事例的な検証を行った点で優れており、今後野外教育学分野の発展にも大きく貢献する優れた研究といえる。

以上の内容から、学生から提出された博士論文は、国内外の研究の水準に照らし、本研究分野における学術的意義、新規性、独創性及び応用的価値を有しており、博士の学位に値することを審査委員一同確認した。

最終試験の結果要旨：

最終試験は2月3日に行われた。審査委員一同出席の下、学生に対して、博士論文の内容について最終確認のための質疑応答を行い、その内容は十分であった。一方、専門知識については公開発表会当日（2月3日）の質疑応答時や予備審査時でのディスカッションを含め十分であると審査委員一同確認した。

学術論文は1編が第一著者として採択済み(Tomago H. and Chiashi K.: Effects of Practical Marine Training in University on Ocean Literacy, 海洋人間学雑誌)であることを確認した。

学術論文は英語で書かれており、かつ、国際会議において英語で発表しており、英語の学力については問題ないと判断した。

また、博士後期課程在学中における研究業績は、著書（共著）2件、報告書を含む論文（申請者筆頭のもの）7件、国内外の学会での口頭発表（申請者筆頭のもの）は7件、ポスター発表8件、国内研究会招待講演1件、競争的研究資金の獲得2件（2年間）であることを確認した。

以上から、学生について博士論文審査、最終試験とも合格と判定した。